

## 第4回 清瀬市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会 会議録

日 時：令和元年 11 月 26 日（火）18:30～20:00

場 所：男女共同参画センター 会議室 1・2

出席者：①委員 7 名

芦澤毅士委員、岩崎玲子委員、小俣みどり委員、春原孝之委員、西村真委員、星野泉委員、松村俊夫委員（五十音順）

②事務局 5 名

企画部長、企画課長、企画調整担当職員 3 名

欠席者：無し

《次第》

1. 開会
2. 報告事項（事務局） 前回議事録（案）の確認
3. 協議事項 有識者懇談会・意見集約資料の確認
4. その他

《配布資料》

資料 1 : 前回議事録（案）

資料 2 : 清瀬市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会 意見集約資料（案）

《審議経過》

1. 開会 座長が進行。
2. 報告事項
  - 第 3 回懇談会の議事録について、内容の確認を実施。特に意見がなかったため、後日、清瀬市 HP にアップすることとする。
3. 協議事項
  - 本日は、第 2 回、第 3 回でいただいた意見を集約し、資料 2 のとおり、市の方向性に関してまとめたので、ご意見をいただく。
  - (1) 「基本方針について」
    - 子育ての有無に関わらず、20 代後半～30 代を重点ターゲットとしたいため、「若い世代」という表現に変更している。なお、20 代は、後半に限定せず、「若い世代（20 代～30 代）」に変更する。

- 施策として、10代へのアピール等は検討していく必要はあるが、基本方針としては、幅を広げるよりターゲットを限定した方が良いので、「若い世代（20代～30代）」に住み続けていただけるように進めていく方向とする。
- (2) 「基本目標Ⅰについて」
- 合計特殊出生率の目標「1.8」は、海外など移民を受け入れている国でも厳しい状況である。
  - 本場のネウボラと勘違いされないように、記載のとおり、ネウボラの前に「清瀬版」を明記しておいた方がよい。
  - 10代に対する行政でのPRとして、「結婚したい」「子どもを産む育てたい」という希望があるが踏み切れない人に対して、サポートしていくことは必要であると考えている。
- (3) 「基本目標Ⅱについて」
- 記載内容については、問題なし。
- (4) 「基本目標Ⅲについて」
- 体験することや他と比較する機会があることで、自らの状況が把握でき、清瀬の良さを実感して他者推奨することができると思う。行政として、他者推奨ができる状態に持つていくため、シティプロモーションなど発信方法を検討していく。
  - 平成17年から実施している農業体験を通じて、中学生は市内農業の大切さ、市内野菜のおいしさを家庭に持ち込んでくれている。こういった地道なことが大切であり、情報発信にも繋がると考えられる。
  - ひまわりフェスティバルについて、10年という歴史の中で、成長した理由や関係者が苦労した内容などを伝えることで、清瀬市のアピールになるのではないか。
  - 記載内容については、問題なし。
- (5) 「基本目標Ⅳについて」
- 市民との協働だけでなく、民間との連携も強化していくことが必要との意図で記載していると思うが、市民が見るものなので、わかりやすい表現、誤解のない表現に変更したほうが良い。

#### 4. その他

- 今回で、全4回の懇談会が終了。今までご協力いただきありがとうございました。

以上